



プロジェクト名称

木沢の「わ」プロジェクト

プロジェクト活動概要



地方のような都市から離れた地域(特に中山間地域)では、人口減少に伴ってさまざまな問題を抱えている。本プロジェクトの活動地・徳島県那賀町木沢地域もそのひとつで、古くから伝わる拝宮和紙などの伝統工芸や人形浄瑠璃・農村舞台などの文化、さらには木沢に住む人々の暮らしの知恵がいま無くなろうとしている。

そこでほとんど活用されていない古民家を活用し、訪問者に木沢を知ってもらうための資料館、訪問者と住民が交流できるワークショップスペース等の機能を兼ね備えた拠点をつくることで、木沢にある文化・伝統・知恵を継承することを目的とする。さらにこの拠点づくりのプロセスは、街のさまざまな住民を巻き込むことで孤立していた住民同士をつなぐコミュニティの場となることが期待され、木沢はより魅力ある街へと変わることが出来ます。

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2016年1月1日～3月31日

2/18 - 2/26

薪棚、案内板、踏み台、風呂場仕上げ、洗面台、キッチン収納棚仕上げなどの施工を行いました。

また、日本女子大学から一人施工に参加していただき、木沢について今までとは違った視点の意見を交えた議論もできました。

またその他に、木沢の周辺の観光資源調査や地域交流も行ってきました。







3/20 - 3/21

いつもお世話になっている「杉の娘」の年に一度の晴れ舞台である「杉の娘祭」に参加してきました。一緒に舞台上で寸劇をして交流を深めつつ、木沢に自分たちの活動を報告しました。



4/8 - 4/10

「ゲストハウス杉の子」のプレオープンに参加してきました。
1年と少しをかけて再生してきた古民家がついにゲストハウスとしてオープンしました。
今まで作業場所だったところで初めて宿泊し、ただ普通に生活できたことがとても嬉しく、感動しました。
プレオープンイベントには多くの人々が参加してくださり、大盛況の中華々しくお披露目ことができました。







第3種郵便物認可

那賀

元地域おこし協力隊員整備 宿泊施設で内覧会

那賀

元那賀町地域おこし協力隊員の桑高仁志さん(37)＝同町坂州＝が

同町寺内に開設するゲストハウス「杉の子」の内覧会が9日あり、地元住民ら約100人が訪れた。

桑高さんが所属する地元の人形座「丹生谷清流座」が、シタレザクラの咲く庭で寿二人三番叟を披露。高齢者女性グループ「きさわ杉の娘楽校」のメンバーが郷土料理を提供する「お花見カフェ」や餅投げもあった。

杉の子は築150年の木造2階建て古民家を改築。29日にオープンする予定で、移住希望者や旅行者らが住民と交流できるイベントなども企画する。

整備に協力した芝浦工業大大学院2年の三島圭人さん(23)＝東京都江戸川区＝は「地域に根ざした建築方法な

ど多くのことを学ばせてもらった。桑高さんも新しい道で頑張ってほしい」と話した。
(小山実久)



人形浄瑠璃などで完成を祝ったゲストハウスの内覧会＝那賀町寺内

那賀町木業家がつく研究会が、ミツマタ加に整備して、式が行われた。研修棟は木60平方メートル、実習室(各30)がある。実習室ツマタの樹皮をけておく水槽とむく機械2基がれているほか、炊事場もある。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

このゲストハウスの完成が本プロジェクトのゴールではありません。

この完成した地域交流の拠点であり、木沢に人を呼び込んでいく拠点を今後どのように活用し、木沢にどのように貢献していくかを考えていくためのスタート地点にやっと立てたという心持ちです。

すでに次の活動は動き出していて、今度のゴールデンウィークに再び木沢を訪問し、木沢の魅力の調査やゲストハウスの運営方法、活用方法などを明確にしていき、今年度中にはイベントなどを行い、少しずつでも木沢を訪れる人を増やしていければと考えています。

そして私たちと同じように木沢を訪れた人たちが木沢をそれぞれの第二の故郷だと思えるようになっていくことを目指します。